町体での思い出

中標津中学校　三年A組　池内　優美

私は町体が好きだ。どこが好きという訳ではないが、町体には思い出がつまっている様な気がする。

私が初めて町体に来たのは小学校六年生の時だった。兄に卓球を教えてもらえるとワクワクしながらも緊張していた。それが今では家に帰る様な感覚だ。

中学校一年生の夏。ほぼ毎日、卓球の練習だった。練習自体は、ものすごく辛かったけど、ライバルでもあり、友達でもある皆と楽しく過ごしたことを、今でも覚えている。だから町体に行くと、宝箱を開けるみたいに楽しかったことや、辛かったことが鮮明によみがえってくる。

三年生になり、卓球をすることも、町体へ行くことも少なくなってしまったけど、これからも色んな人の思い出が町体にぎざまれていくだろう。